

地域医療支援病院業務報告書

令和7年9月19日

愛知県知事殿

開設者 住 所

〔法人の場合は、主たる
事務所の所在地〕 愛知県長久手市平池901番地

氏 名

〔法人の場合は、名称及
び代表者の職・氏名〕 愛知県厚生農業協同組合連合会

代表理事理事長 宇野 修二

下記のとおり、令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院					
所 在 地	愛知県弥富市前ケ須町南本田 396 番地					
診 療 科 名	総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血液内科、脳神経内科、老年内科、緩和ケア内科、腫瘍内科、精神科、小児科、外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リウマチ科、リハビリテーション科、救急科、病理診断科、歯科口腔外科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
	—	6	—	—	534	540

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要
集 中 治 療 室	(主な設備) I C U…人工呼吸器/PCPS/IABP/超音波エコー/生体情報モニター/透析装置/除細動器/体外式ペースメーカー/急速輸血輸液加温装置 病床数 8 床
化 学 検 査 室	(主な設備) 感染症関連検査装置/腫瘍マーカー検査装置/多項目自動分析装置
細 菌 検 査 室	(主な設備) 血液培養自動分析装置
病 理 検 査 室	(主な設備) 密閉式自動包埋装置/自動染色装置/凍結切片作製装置/自動免疫染色装置
病 理 解 剖 室	(主な設備) 解剖台/臓器撮影装置/遺体保冷库
研 究 室	(主な設備) P C 1 台/椅子/机
講 義 室	室数 4 収容定員 講堂：270人 ほか
図 書 室	室数 1 蔵書数 3,250冊程度
救 急 用 又 は 患 者 搬 送 用 自 動 車	(主な設備) ストレッチャー搬送車（1）※写真・車検証写添付 保有台数 1 台
医 薬 品 情 報 管 理 室	〔専用室の場合〕 床面積 62.93㎡ 〔共用室の場合〕 室と共用

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 紹介率 86.3%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 ($A/B \times 100$)
15,916人	18,423人	86.3%

3 逆紹介率 107.1%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 ($C/B \times 100$)
19,740人	18,423人	107.1%

【資料1】紹介率・逆紹介率

- ※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。
- ※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。
- ※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあつては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数：2,709機関

これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数：2,709機関

共同利用に係る病床の病床利用率：12.0%

共同利用の内訳：(医療機器：2,640機関、共同利用病床：69機関、施設：0機関)

【資料2-1】共同利用を行った医療機関の延べ機関数

【資料2-2】共同利用に係る病床の病床利用率

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

2 共同利用の範囲等

・共同利用に関する医療機器

コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴画像診断装置、SPECT/CT装置、R I 検査装置、骨塩定量測定装置、
X線テレビ撮影装置、X線一般撮影装置、内視鏡、超音波診断装置、自動解析心電計、ホルター心電図解析システム、
運動負荷システム、熱画像検査装置、脳波計、筋電図検査装置、肺機能検査装置、乳房撮影装置、血圧脈波検査装置

・共同利用に関する設備

講堂、会議室2、管理会議室、図書室

【資料2-3】共同利用の範囲

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

共同利用に関する規程	⑦ ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	社会福祉士

【資料2-4】共同利用規程

【資料2-5】共同利用病床運営細則

【資料2-6】医療機器・図書室共同利用細則

【資料2-7】地域連携に伴う諸記録閲覧細則

【資料2-8】登録施設制度実施規程

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係

【資料 2－9】登録医療機関の名簿

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5床（一般病棟2床〔465、656-2〕、救急病棟3床〔7、14、18〕）

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
			<div>〔 常勤 〕 〔 非常勤 〕</div> <div>〔 専従 〕 〔 非専従 〕</div>		

【資料 3】重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称（I C U 8床）8床
専用病床	名称（救急 20床）20床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救命救急センター （診療棟 1 階）	399.45㎡	（主な設備）人工呼吸器/超音波エコー/生体情報モニター/除細動器/急速輸血輸液加温装置	可
救急病棟 （診療棟 2 階）	508.33㎡	（主な設備）人工呼吸器/超音波エコー/除細動器/生体情報モニター	可
I C U （A B 棟 2 階）	109.54㎡	（主な設備）人工呼吸器/PCPS/IABP/超音波エコー/透析装置/除細動器/生体情報モニター/体外式ペースメーカー/急速輸血輸液加温装置	可
診療放射線室 （A B 棟、管理棟 1 階）	1,589.93㎡	（主な設備）CT/MRI/血管撮影装置	可
臨床検査室 （診療棟 2 ～ 3 階）	641.12㎡	（主な設備）血球計測分析装置/多項目自動分析装置/血液ガス分析装置	可
手術センター （A B 棟 2 階）	1,045.50㎡	（主な設備）外科用X線装置/超音波凝固装置/人工心肺/Da Vinci Si	可
内視鏡センター （管理棟 1 階）	117.87㎡	（主な設備）内視鏡光源装置/内視鏡(23本)/内視鏡自動洗浄機	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	10,058人(3,878人)
上記以外の救急患者の延べ数	11,749人(1,426人)
合計	21,807人(5,304人)

※()内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数 65回

6 備考

救命救急センター指定(平成25年9月) 海部広域二次救急医療圏・病院群輪番制病院

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第8号)に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

【資料 4－1】研修会の内容・実績

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	59回
(2) (1) の合計研修者数	6,859人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 ⑦・無

(2) 研修委員会の有無 ⑦・無

(3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨 床 経 験 年 数	備 考
				年	
				年	
				年	
				年	
				年	

【資料 4－2】地域研修プログラム

【資料 4－3】総合教育研修委員会規程

【資料 4－4】研修指導者

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講堂 (教育研修棟 3 階)	262.71m ²	(主な設備) マイク放送設備/映像設備 (P C・プロジェクター含む) /机/イス/
会議室 全 2 室 教育研修棟 3 階 管理棟 3 階	131.51m ²	(主な設備) マイク放送設備 (1 室のみ) /映像設備 (P C・プロジェクター含む) /机/イス/ホワイトボード
	m ²	(主な設備)

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	病院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等	病院管理： 診療情報： 地域連携：	事務員 放射線技師 社会福祉士	総務課長 医療情報室長 地域連携室長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病 院 日 誌、各 科 診 療 日 誌、処 方 せ ん、 手 術 記 録、看 護 記 録、検 査 所 見 記 録、 エ ッ ク ス 線 写 真、紹 介 状、退 院 し た 患 者 に 係 る 入 院 期 間 中 の 診 療 経 過 の 要 約	病院管理 ：総務課 診療情報 ：電子カルテ	病院管理：日付 診療情報：患者 I D
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域連携室
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	教育研修室 地域連携室
	閲覧の実績	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域連携室

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏 名		職 種		役 職 等	
			医師		副院長兼 地域連携部長	
閲覧担当者	氏 名		職 種		役 職 等	
			社会福祉士		地域連携室長	
閲覧場所	地域連携室、海南SUN－senネット					
総閲覧件数	医 師	歯科医師	地方公共 団 体	そ の 他	合 計	
	34,141	69	0	0	34,210	
閲覧手続の概要	<p>(手続きの概要)</p> <p>閲覧を希望する者は、あらかじめ地域連携室に閲覧日時、目的及び閲覧を希望する諸記録等の名称を連絡し、許可を受けた後に、地域連携室にて閲覧することができる。</p> <p>(参考資料)</p> <p>「地域連携に伴う諸記録閲覧細則」</p> <p>【資料２－７】地域連携に伴う諸記録閲覧細則</p>					

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4回

2 委員会における議事の概要

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

令和6年度第1回

日時：令和6年5月17日（金）

方法：参集

議事：

- ・海南病院情勢報告
- ・地域連携事業報告
- ・救命救急センター受け入れ状況について
- ・令和5年度医療機関訪問時のご意見について
- ・令和5年度地域研修実績報告及び令和6年度地域研修計画について
- ・新生児搬送専用ダイヤルの稼働状況について

令和6年度第2回

日時：令和6年8月16日（金）

方法：参集

議事：

- ・海南病院情勢報告
- ・地域連携事業報告
- ・救命救急センター受け入れ状況について
- ・新型コロナウイルス感染症患者の入院状況について
- ・救急患者連携搬送における当院の現状について
- ・吸入指導スキルアップ研修のご案内

令和6年度第3回

日時：令和6年11月15日（金）

方法：参集

議事：

- ・海南病院情勢報告
- ・地域連携事業報告
- ・救命救急センター受け入れ状況について
- ・海南病院がん診療の概況について
- ・吸入指導スキルアップ研修の実施報告

令和6年度第4回

日時：令和7年2月14日（金）

方法：参集

議事：

- ・海南病院情勢報告
- ・地域連携事業報告
- ・救命救急センター受け入れ状況について
- ・当院の慢性的な入院病床の不足を踏まえた取り組みについて
- ・海部南部消防の救急搬送状況について

【資料7】地域医療支援委員会 資料・議事録

患者相談の実績

患者相談を行った場所	総合相談センター		
患者相談担当者	氏 名	職 種	役 職 等
		社会福祉士	医療福祉相談課長
		看護師	地域医療連携課長
		看護師	医療安全管理室長
		社会福祉士	介護事業室長
患者相談件数	26,384 件		

患者相談の概要

当院の患者相談窓口は相談機能を有する院内各セクションを 1 箇所に集約し、総合相談センターとして患者から院内外からわかりやすい場所に立地している。各種相談の最初の窓口として総合相談センターの医療ソーシャルワーカーがまず対応し、患者さんがどこに相談すればいいかわからないような合理的配慮を行っている。相談内容に応じて各種専門窓口につなげるとともに、病院内外と連携をとりながら丁寧な対応を心がけている。

番号	内 容	件数
1	受診・入院に関する相談	197
2	転院・退院に関する相談	20,271
3	療養上の相談	2,435
4	医療費を含む経済的相談	2,175
5	心理、情緒的相談	72
6	権利擁護に関する相談	20
7	がん相談	1,023
8	医療安全に関する相談	191

【資料 8－1】総合相談センター運営規程

【資料 8－2】総合相談センター組織図

【資料 8－3】総合相談センター相談対応事例

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

【資料 9－1】居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

【資料 9－2】医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

1. 地域の医師、看護師、介護・福祉関係者に対して地域の医療提供体制が成熟・拡大するための取り組みを当院主催にて行っている。
 - 1) 症例検討会 毎月開催（各診療科担当ハイブリッド開催
当院の医師および登録医を対象とした勉強会
 - 2) 地域看護師勉強会 各月開催 WEB開催
地域医療機関および施設、訪問看護ステーションの看護師等を対象とした勉強会
 2. 積極的に地域の医療機関訪問を行い、地域の医療機関より提供される医療資源や診療体制の確認、地域医療・地域医療連携の強化のための活動を行っている。
- （参考）令和6年度医療機関訪問数 718件

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域連携室		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		社会福祉士	地域連携室長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	2022年5月12日～2027年5月11日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

【資料10】日本医療機能評価機構の認定証（写）

3 退院調整部門の取組

退院調整部門の実績

退院支援部門である医療福祉相談課と入退院支援課に、ソーシャルワーカー（国家資格有資格者）8名、看護師8名を配置している。

入院日より退院支援を開始するシステムを稼働し、全入院患者に退院支援アセスメントと患者・家族面談を実施している。なるべく多くの患者に退院支援を行う仕組みとして、入院病棟において多職種による退院支援カンファレンスを積極的に行い、その数は全退院患者の約76%に昇る。

当院の特徴として居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、がん相談支援センター、地域医療連携センターを退院支援部門と同フロアに配置し、院内に限らず様々な患者ニーズおよび相談にも応需できる体制を構築している。また、訪問看護ステーションやヘルパーステーションを併設し、地域に不足している医療、介護、福祉資源を補完しつつ在宅退院、在宅療養支援を高いレベルで提供している。

令和6年度 退院支援カンファレンス実施患者数 12,005人

令和6年度 退院支援カンファレンス実施回数 1,714回

4 地域連携を促進するための取組みの実績

策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容

1. 愛知県がん地域連携パス：肺がん・胃がん・肝がん・大腸がん・乳がん・前立腺がん
前立腺がん＋放射線治療

登録連携医療機関 117件

令和6年度算定実績：大腸がん 3件

乳がん 38件

前立腺がん 8件

2. 脳卒中・大腿骨近位部骨折パス・脊椎圧迫骨折・頭部外傷・誤嚥性肺炎

管理病院1件（当院） 回復期リハビリ病院等9件

令和6年度算定実績：脳卒中 162件

大腿骨近位部骨折 123件

頭部外傷 21件

脊椎圧迫骨折 16件

誤嚥性肺炎 18件

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・地域の医療機関が参加する連携パス会議『SUN-sen地域連携会』を年に2回開催し、各医療機関の役割を明確にし、地域連携が円滑に行われるようにする。また地域連携パスの作成、検証、改定等を行う。地域連携パスの質の向上に向け、研修会・講演会を開催する。

令和6年度連携パス会議開催実績：感染対策としてZOOMによるオンライン開催

7月10日…参加 9医療機関

12月12日…参加 9医療機関

- ・患者への説明（がんパス）
- ・かかりつけ医を訪問し、連携パスの説明を実施
- ・海南SUN-senネット登録医への情報公開

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

病院ホームページ、病院案内、広報誌海南NEWS、地域医療連携センターだより

内容等の概要

- ・地域完結型の医療体制を構築、地域全体の医療の質向上にリーダーシップを果たすこと。
- ・地域医療の中核を担い、高度急性期医療に対応すること。
- ・次世代の地域医療を担う人材を育成すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。